

スライドタイトルを入力

サブタイトル

著者 太郎

ほげほげ研究室 M2

YYYY/MM/DD

目次

1. はじめに
2. コードブロック
3. 数式
4. 図

はじめに

- Marp とは **Markdown** で**スライド**を作成するためのソフトウェアである。
 - 基本的な Markdown のシンタックスがサポートされている。
 - テスト
- Markdown 上で **---** という区切り線を入れるだけで、次のページに移動することができる。¹

1: Marp は CommonMark という Markdown の仕様に沿って開発されているため、CommonMark に含まれていない「脚注」の文法（**[^1]** を使うもの）が提供されていない。そこで、<https://github.com/marp-team/marp/discussions/150#discussioncomment-1302384> を参照して擬似的に脚注を実現した。

コードブロック

こんな感じでコードブロックを書くことができる。

```
from transformers import AutoModelForMaskedLM, AutoTokenizer

model = AutoModelForMaskedLM.from_pretrained(
    "cl-tohoku/bert-base-japanese-whole-word-masking",
)
tokenizer = AutoTokenizer.from_pretrained(
    "cl-tohoku/bert-base-japanese-whole-word-masking"
)
```

横幅は自動調整される（ドキュメントの[Auto-scaling](#)を参照）。

数式

$$I_{xx} = \int \int_R y^2 f(x, y) \cdot dy dx$$

$$f(x) = \int_{-\infty}^{\infty} \hat{f}(\xi) e^{2\pi i \xi x} d\xi$$

こんな感じで**数式**を書くことができる。もちろんインラインの $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ も使える。

ついでに絵文字も使える 😊



1. まず [このいらすとやのリンク](#) から画像（`kenkyu_woman_seikou.png`）を右クリックでダウンロードしてください。
2. この Markdown のあるディレクトリの中に `images` という名前のディレクトリを作り、先ほどダウンロードした画像を配置してください。これで準備が整いました。

